

ひろば大代

NO.191

大代公民館



「すてきな
私の母さん」

小六 佐藤玲子



私の母さんは、スマップと米米クラブのファンです。スマップの中では香取君と中居君です。そこぬけに明るい所が好きだそうです。

そんな私の母さんは家の仕事もきちんとしているけど、自分のしゅみでエアロビクスも行ってるとし、料理教室も行っていきます。エアロビでは、くつもそれよりのくつを買っています。

料理教室でつくった物は家にもってかえって、私たちに食べさせてくれます。その中でいま一番気に入ったものは、「スープ」です。「トマトスープ」とか「カボチャスープ」とか、ふつ

うの家でもできるかもしれないけど、私は母さんのつくったスープが好きです。

私の母さんは、すごくいい母さんだと思います。

「お父さんへのお願い」

小六 高村一雄

ぼくのお父さんは、いつも働いています。平日は自衛隊に行って仕事をしています。土日は田んぼの仕事や、草をかったりしています。でもそういう仕事をしていながらどこかにつれて行ってくれます。

それと、お父さんといるとなぜか楽しいです。たぶんいろんな話をしてくれるからだと思います。前は陸上のこととか話してくれました。お父さんの話はわかりやすいから、よく分かって聞きやすいです。話とか聞いたたり、自分の今日の自まんとかしたいから、いつもお母さんに帰ったら、「今日お父さん帰ってくる？」と聞きます。

でも、お父さんへのお願いがあります

でも、お父さんへのお願いがあります。ぼくが弟とけんかをしたら、いつもぼくをおこります。それに姉とけんかをしてぼくにばかり注意します。それはやめてお姉ちゃんにも注意してください。

お父さんは、やさしくて、楽しくて大好きです。でも、ときどきおこられます。でもお父さんが好きです。それは、おこってもやさしく楽しくしてくれるお父さんだからだと思います。

「大江高山登山紀行」(二)

大田市 原田萬里

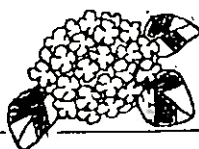
四月二十一日 朝食を取りながら一人言のように、また家内に聞いてもらいたいと言う願望もあって、

「よし 今日大江高山に登ろう」と言いました。

何時も私はこんな風に家内に伝えるのを常套手段にしているのです。

「高山に登るんですか？」

と 家内は心配そうに言いながらも半



ば諦めの顔で、むずびをつくってくれました。曇りがちな空を仰ぎながら家を出ました。

九時半飯谷側の登山口に到着、私も同窓生が寄進した「しだれ桜」の様子を観察しながら東側の桜は芽を吹いているのに西側の桜は未だに芽吹いていないのは矢張り朝日の当る方がよく育つのかなあと思ったり、何か新発見でもしたような気分になりました。

いよいよ登山にかかります。手頃な竹を切り杖を作ります。それは急峻な山道を登るのに助けになるだろうと考えたからです。

これから登るであろう登山家のために道を塞いでいる枯れた竹を除き、木の小枝を切って眺望を良くしたりしながら山道を登ります。

爪先だって歩くようになると、汗も額を流れます。杖を頼りに歩こうと力を杖に託すと杖が滑ります。どうしたことかと考えながら歩くうちに、ピッケルは先が尖っていることに気づきました。私の作った杖は先端を平たく作ってしまったのでした。

東の稜線に立つと爽やかな春の風が

吹き抜けます。道の両側には山椿の花が咲き、アセビの白い花が新鮮に見えます。マンサクの花は終わりに近く色褪せていました。コブシの花であろうと思われる大きな舌状の花も見られました。

登る道々獣の糞も散見しながら歩き続けて小一時間で頂上に着きました。

早速 双眼鏡でわが家を探すが見えません。双眼鏡の精度が悪いためか残念でした。矢滝城山と大江高山の間にある山の頂きが円形の窪みになっているのに気づきました。人工的に作られたものとは思われません。写真に撮り検討してみたいと思いました。

家内が作ってくれたむずびは、両手で持つほどの大きさです。塩味で味をつけ、塩昆布に佃煮の愛情弁当はとても美味しく、頂上の別天地で頂きました。

山頂のポストには、山口の航空自衛隊の方がファントムの飛来に感激された記録や、アマチュア無線家の大江高山からの無線交信を期待する記録を拝見して、感無量なものを感じました。

五年くらい前になりますか、私が大

代高山会の「都市交流会」で山頂にポストを設けてはと提案したことが、こんなに実を結んでいることを思うと胸が熱くなりました。

ミスミ草の花を足下に見ながら下山して、山辺神社の境内にある紀元二千六百年の記念碑の表文字の苔を竹串で取り除きました。やがて崩れるであろう碑文を後世に残すために、拓本として採取したいとの願いからです。

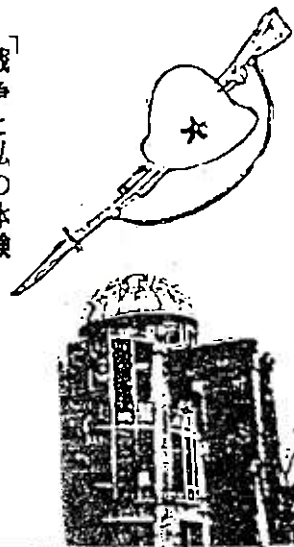
今日も快い疲れを感じながら帰途に就きました。

平成七年卯月



戦時体験記

「戦争と私の体験」



大田市 原田万里

昭和十二年は私が小学校三年の時、七月に蘆溝橋事件が勃発しました。

その頃は幼くて戦争の意味など全く解っていません。夜、庭先に出るとサライトの光の筋が、幾本も左右に揺れているのが見えました。それは、遥か彼方の中国山地を越えた、広島から出ているものでした。戦闘の拡大と戦果は隣のお爺さんから知らせてもらっていました。私の家には、ラジオはおろか新聞もありませんでした。

南京城陥落、上海占領とニュースが伝わる度に村を挙げて昼は旗行列、夜は提灯行列でお宮参り、戦勝を神に祈ったものです。戦争の拡大とともに、村にも招集令状が届くようになり、出

征兵士の家には色鮮やかな幟が幾本も立つようになりました。

出征兵士の出発の日には、神社で出征報告祭が行われ小学生も参列しました。軍服を着た兵士は奉公袋を片手に赤いタスキをかけて神前に額ずき、自分の無事を祈願したことでありましよう。幟を先頭に村民を挙げて、村境まで盛大な見送りをしました。村人達は「山辺神社の神は絶対に兵士を守る。それは日清・日露の戦争で、戦死者が村から一人も出ていない。だから、この戦争も戦死者などは絶対にない」と私もそれを信じていました。

昭和十六年十二月八日、初冬の風を冷たく感じながら集団登校の場へ向かいました。途中、何気なく立ち寄った友達の家で、ラジオから流れた臨時ニュースを聞きました。

《我が海軍は真珠湾攻撃をしたり、米海軍の戦艦を撃沈せり》

私は異常な緊張を覚えました。昼頃職員室の前に生徒が集まり、宣戦の大詔をラジオから聞きました。

それからは毎月八日を大詔奉戴日として雨の日も雪の日も戦勝祈願に、全

校挙げて神社参拝をしたものです。

また、全校行事として出征兵士の家を慰問の旗行列をしたり、食糧増産に励みました。

今は風物詩的存在となった村の生活には、大家に木炭バスが現れ、女性の車掌さんがかいがいしく働いておられました。また、冬にはうさぎ狩りの動員があり、各家庭では兎の皮を軍事用に提供するためです。

松根油を取るために、肥松の根を掘ったり、金属類の供出や灯火管制にと苦しい生活を強いられました。

「撃ちてし止まん」の心意気高く、航空兵になって困難に当たりたいと思ったのは高等科二年のときでした。

向井鶴雄君、泉芳晃君と私の三人は、海軍に志願して両君は合格し、卒業と同時に呉海軍に入隊、フィリピン沖海戦で戦死しました。私は不合格となったのです。

昭和十九年秋には、陸軍少年航空兵の第二次試験のため、滋賀県大津の航空隊に行きましたがこれも不合格でした。

この年の暮れ近く、海軍の航空予科

練習生の第二次試験に、鳥取県大津津海軍基地に行くことになりました。戦局は重大局面に突入しており、合格即入隊。しかも秘密扱いでしたので、日章旗の寄せ書きも四・五人で見送りも両隣の人だけで、祖式との界まで極秘の出発でした。が不合格となつて帰郷しました。

昭和二十年八月十五日は、夏休みで家に居ましたが敗戦の噂を聞き、取るものも取りあえず、仁万の学校へ行くことにしました。

木炭バスに乗り浅利駅まで来たとき汽車には白衣の軍人がぎっしりとおりみんな沈痛な顔をしていました。

これを見て何もかもがはっきりとわかりました。

俳句

あすなる句会

青葉して迫り来る山屋根の鯨

古女房更衣して若やげり

下谷 尾崎三枝子



着るものの無しと言いつつ更衣青葉影映して揺るる水鏡

下市 渡 あや子

娘のくれしパステルカラーや更衣更衣した子せぬ子や登校時

椿 花田時子

更衣思いとどまる今朝の雨通勤の車窓の青葉日毎濃し

柿田 横手いちえ

走り茶や老に欠かせぬ常備薬魚板打つ谷の古刹や夏つばめ

椿 柿丸寿枝

ひと雨に頭を垂れし牡丹花泥落し魚の如しや露天風呂

八反田 森 信子

★——★おしらせ★——★

◎子供の遊び場のお知らせ!

大代公民館では三年計画で島根県共同募金と市社会福祉協議会の子供の遊び場事業で五月二十七日公民館広場へ「すべり台」一基を新たに設置していただきます。遊動円木、ブランコすべり台」と楽しく遊べます。どうぞ気軽に親子で遊びにおいで下さい。

◎大代公民館から

先日寿会の方々に草刈奉仕をして頂き、周辺や広場は大変きれいになりました。厚く御礼申し上げます。

6月行事

- * * * * *
- * * * * *
- * * * * *
- ◆ 2日(木) 寿会草刈奉仕
- ◆ 4日(日) 町民ソフトバレー大会
- ◆ 6日(火) 編集委員会
- ◆ 6日(火) JA集落委員会
- ◆ 11日(日) 福祉弁当
- ◆ 11日(日) 関西高山会総会
- ◆ 16日(金) あすなる会
- ◆ 16日(金) 都市交流会理事会
- ◆ 18日(日) 婦人会(層別のつどい)
- ◆ 20日(火) 都市交流会代議委員会
- ◆ 22日(月) 連合自治会

